（別紙4（2））

事業所名 ： グループホーム　アイリーフ当新田

目標達成計画

作 成 日 ： 令和　5　年　3　月　18　日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1（1）	理念を更にわかりやすく掲示する工夫をしてみてはいかがでしょうか。	職員全員が理念を的確に理解し、実現させていけるか自分なりのオリジナリティを考え、実行出来る。	玄関に入ってすぐ、タイムカードを押すときに見える位置に大きく表示した理念と、その横に各自の写真つき目標を掲示。出勤するたびに目標を確認し、業務の中で実行できるようにする。	12ヶ月
2	2（2）	地域の方との交流をさらに深めてはいかがでしょうか。	事あるごとに交流する機会を作り、近所の人も気軽に立ち話出来るスペースを設け、地域に溶け込んだ施設になる。	キャンピングテーブルやパラソルを駐車場に設置し、散歩中の方が休憩できるスペースを作る。不要なタオルで雑巾を縫い、それを学校に寄付。資料も持参し、交流を呼びかける。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。